

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

野津原地域ビジョン会議 通信 第4号

発行：野津原地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

まちづくりの将来像と事業案がまとまりました

これまで、市内 13 地域において、地域の代表者等で構成する『地域ビジョン会議』を設置し、それぞれの地域における現状や課題を整理しながら、将来のまちづくりに向けた議論を深めてまいりました。

先日、第 4 回目の地域ビジョン会議を開催し、各委員が抱えている地域の目指すべき将来像や、その実現に向け地域と行政が一緒になって取り組んでいくべき事業案について、対話（ディスカッション）を通じて共有化を図りました。

第 4 回野津原地域ビジョン会議

- 日時：平成 30 年 2 月 9 日（金）14：00～
- 場所：野津原市民センター 2F 大会議室

開会

- 一、会長あいさつ
- 二、議事
 - 1 第 3 回ビジョン会議の整理
 - 2 グループワーク
～まちづくり事業の共有（ディスカッション）～
- 三、その他

閉会

これまでの地域ビジョン会議の流れ

これまで合計 4 回の地域ビジョン会議を開催し、地域の魅力や課題の抽出、SWOT 分析に基づき、地域の将来像（まちづくりのコンセプト）とその実現に向けた取組み（事業案）の検討を行い、委員全員による認識の共有を図りました。

STEP 1（6月）

- ・地域の現状
- ・市の計画や取組み

STEP 2（8月）

- ・ブレインストーミング
- ・コンセプトの検討

STEP 3（10月）

- ・SWOT 分析に基づく取組み案の検討

STEP 4（2月）

- ・ビジョンの再確認
- ・対話による事業の共有

今後の検討予定

将来像（まちづくりのコンセプト）と取組み案（事業案）について、アンケート調査を通じて地域の皆様の意見を伺いながら「野津原地域まちづくりビジョン」としてとりまとめを行い、将来のまちづくりに向けた提言として大分市長に提出いたします。

アンケート調査を実施します

◇野津原地域の将来像（まちづくりのコンセプト）とその実現に向けた取組み（事業案）について、「野津原地域まちづくりビジョン」として、将来のまちづくりに向けた提言をとりまとめるため、地域にお住まいのみなさまのご意見を募集しています。

将来像や取組み事業案に対するご意見等を以下の①または②のいずれかの方法でお知らせください。

<受付期限> 平成30年4月16日(月)まで

- <回答方法> ①野津原支所に備え付けのアンケート用紙にご記入のうえ、回収BOXに投函
- ②大分市ホームページの「パブリックコメント」から、応募専用フォームで回答(3/15より)

※アンケート回答フォームへのアクセスは、右記QRコードも利用できます。



【QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。】

野津原地域の将来像(まちづくりのコンセプト)

ダムに夢を 森といやしの里ななせ

「大分川ダム」や「交流拠点」などの完成を機に、自然豊かな野津原を PR し、明るいまちづくりに向けて取り組んでいくことをイメージしてこのコンセプトとしています。

将来像の実現に向けた取組み(事業案)一覧

①国道442号の朝地までの拡幅

- ・ダムや交流拠点の建設に伴い、国道442号を拡幅し交流人口の増加を図る
- ・地域においても期成会活動を県に対し引き続き実施する

②スポーツを通じたまちづくり事業

- ・災害時の避難所としても利用できる総合体育館を新設する
- ・スポーツを通じて人を呼び込み、地域を活性化する

③ダムの魅力を活かした地域づくり

- ・ダムの魅力を活かしたイベント等を周辺で実施し、人を呼び込むまちづくりを推進する
- ・親子で楽しめるイベント(いも掘りなどの収穫体験事業)
- ・健康意識を高めるイベント(ウォーキング、マラソン、健康教室、ラジオ体操 など)
- ・年間を通して野津原に来てもらえる企画づくり(集客を増やすには健康食品や季節の食材など「食」を絡める必要)
- ・周回道路におけるさまざまな種類の桜の植樹(地域外の人に桜のオーナーになってもらう)、交流拠点での食事や季節の食材の販売などといった観光面での強化を図り、1日中観光客が楽しめる体制をつくる

④小学校跡地の利活用(中部・西部・今市)

- ・小学校跡地を地域の交流の場として利活用する
- ・小中学生と地域とのふれあい活動を実施(校舎は校区公民館として利用)
- ・野津原の多世代交流の促進(子どもから高齢者まで参加できる料理コンテストを実施し、野津原の季節の食材を使った料理やお菓子、我が家自慢のお漬物などを競い合う。優勝作品は交流拠点で販売し、地域外へもPR)

⑤観光農園の開発促進事業

- ・ぶどう、いちごなどの観光農園や、産品の開発(地域資源を利用)
- ・野津原の一村一品を観光に活かす(にら、いちご、豊の七瀬柿、しいたけ、豊後牛 など)

⑥野津原の桜の名所×ウォーキング×(桜の)特産物

- ・桜を活かした野津原の特産品の開発や、バスやウォーキング、マラソンなどで、野津原を巡るイベントを実施する

⑦助け合いを実現するやさしい地域づくり

- ・様々な分野のボランティア人材バンク制度の創設
- ・野津原の優れた人、物を繋げるコーディネーターの発掘・育成

⑧ふるさとの旧跡・民話めぐりガイド事業

- ・小学生にボランティアガイドとして野津原の旧跡をガイドしてもらう(教育機関との連携)
- ・伝統文化を継承し、地域への愛情と誇りを育むのと同時に、地域外へのPRにつなげる

■問い合わせ：大分市企画部企画課 TEL：537-5603・野津原支所 TEL：588-1111